

その19 養父

(平成8年11月1日号—第185号)



32 養父元町

枚方市の北中部に位置し、南北を穂谷川と船橋川に挟まれた地域に、今回紹介する養父地区があります。旧『枚方市史』によると、養父[やぶ]という地名は、この地に住む物部[もののべ]氏の子孫、養父氏から由来したものではないかと記されています。

養父地区では、古墳が幾つか発見されましたが、その中でも、比丘尼塚[びくにづか]は、飛鳥時代、蘇我氏と物部氏が覇権争いをしたときに、争いに巻き込まれた尼僧が養父の地で切られて埋められた

場所だという言い伝えが残っています。比丘尼塚は、殿山[とのやま]第二小学校の運動場で発見された古墳で、須恵器[すえき]が20数点採集されました。円墳と伝えられていますが、原形は残っておらず、また、葬られた尼僧の名前など、詳しいことまでは、残念ながら明らかになっていません。しかし、養父地区は物部氏と関連深い土地であったことから、物部一族の尼僧が養父で亡くなり、古墳がつくられたとしても不思議ではありません。

悠久の歴史をしのばせてくれるこの町には、まだ名もない古墳が幾つも眠っている可能性があります。いつもとは違った気持ちでこの地を散歩すると、新しい発見があるかもしれません。



33 比丘尼塚古墳の須恵器